

シュウセイカイではなく、シュショウエと読みます。去年までの、良くなかったこと、正しくなかったことを修正して、改めて新しい年を迎える行事です。大晦日から元旦にかけて、除夜の鐘が、108もある^{ボンノウ}煩惱を取り除くようにと打ち鳴らされます。

根本煩惱として、「^{トン}貪・^{ジン}瞋・^チ癡」の^{サントク}三毒（三惑）と「慢・疑・見」を合わせて、六煩惱と云います。ムサボリ・イカリ・グチと、オゴリ・ウタグリそして偏見や邪見等の悪い見方です。その中でも特に「癡」おろかさが重要であると。

過去は修正液では消せません。過去に捉われることなく、未来に不安を抱くことなく、我欲・我執を離れて。日々修正の、今時（いまどき）なのです。